実証実験概要

通し番号1

実験名称	エコシップを活用したモーダルシフト実証 実験
申請者	荷主:株式会社トクヤマ 物流事業者:近畿輸送倉庫株式会社 株式会社愛徳
実験概要	対策の概要: 既存船舶のエコシップ化ならびに トラック輸送の海運へのモーダルシフト <現行>
	名古屋港隣接貯蔵施設

通し番号3

実験	電車型特急コンテナ列車による東京・大阪間
名称	鉄道活用実証実験
申請者	荷主:佐川急便株式会社 物流事業者:日本貨物鉄道株式会社 東日本運輸興業株式会社
実験概要	対策の概要:高速の電車型特急コンテナ列車「スーパーレールカーゴ」を開発・導入し、東京 大阪間の特積貨物を鉄道にモーダルシフト 「現行 「関係」 「
	□ 京賞物ターミナル駅 東京貨物ターミナル駅 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・

通し番号2

実験 シュレッダーダスト輸送 海運活用実証実 名称 験 荷主:北日本興産(株) 申請 物流事業者:商船三井フェリー(株)、日東陸運株)、 者 北一トラック㈱ 対策の概要:東京~北海道間の"シュレッダ ーダスト"(廃家電・自動車を粉砕した産業廃 棄物)を長距離フェリーを利用し海上輸送(東 京~苫小牧) <対策後> 実験 概要 新規貨物)

通し番号4

実験 名称	大阪 - 名古屋・神戸間海上コンテナ輸送実証 実験
申請者	荷主:株式会社 MOL JAPAN 物流事業者:井本商運株式会社
実験概要	対策の概要:大阪~名古屋・神戸への空コンテナのトラック輸送を海上輸送(内航船利用)へ転換 「現行」 「大阪港」 「対策後」 「対策後」 「大阪港」 「神戸港」 「神戸港」 「神戸港」

通し番号5

実験 31ft コンテナによる特積貨物拠点間輸送モ 名称 ーダルシフト 申請 荷主:北海道西濃運輸㈱ 者 物流事業者:日本貨物鉄道㈱北海道支社 対策の概要: 小樽~船橋間のトラック輸送(苫 小牧-八戸間のみフェリー利用)を鉄道輸送に 転換(札幌貨物(タ)駅~隅田川駅) <現行> 小樽営業所 西濃運輸㈱船橋支店 苫小牧港 実験 概要 <対策後> 小樽営業所 北海道西濃運輸㈱ 西濃運輸㈱船橋支店 札幌夕駅

通し番号 7

株式会社神戸製鋼所加古川製鉄所から中部 実験 地区向け鉄板(厚板)輸送の船舶活用実証 名称 実験 荷主:株式会社神戸製鋼所 申請 物流事業者:神鋼物流株式会社 者 伊勢湾海運株式会社 対策の概要:関西~中部間のトレーラ輸送を 海上輸送へ転換。端末部分は専用ル-ラを導入 < 現行 > 株式会社神戸製鋼所 各 加古川製鉄所 要 実験 概要 < 対策後 > 株式会社神戸製鋼所 加古川製鉄所 需

通し番号6

中野	
実験 名称	九州 / 関東間モーダルシフト実証実験
申請者	荷主:大日運輸株式会社 物流事業者:オーシャン東九フェリー株式会 社、日本興運株式会社
実験概要	対策の概要:関東各地~九州各地のトラック輸送を海上輸送(フェリー)へモーダルシフト 〈現行〉 「対策後〉 「加州各地 「加州名地 「加州各地 「加州名地 「加州和北 「加州和和 「加州和 「加州和和 「加州和和 「加州和 「

通し番号8

実験	ヤマト運輸宅急便・関西北海道間フェリー
名称	活用実証実験
申請者	荷主:ヤマト運輸株式会社、 マリネックス株式会社 物流事業者:マリネックストランスポートサ ービス株式会社、ノーザントランスポートサー ビス株式会社、新日本海フェリー株式会社
実験概要	対策の概要:大阪~千歳間のトラック輸送(青函フェリーを利用し海上輸送へ転換。また、10tトラックから 20tトレーラーへ車両を大型化 「現行> 「現行> 「現行> 「現行> 「現行> 「関西地区集約拠点 「現行> 「対策後> 「対策後> 「関西地区集約拠点 「以上ラック) 「対策後> 「関西地区集約拠点 「以上ラック) 「以上ラック) 「以上ラック) 「以上ラック) 「以上ラック) 「以上ラック) 「以上ラック) 「以上ラック) 「以上ラック) 「以上連輪㈱大阪ベース 「以上ラック) 「以上のより、「以上ラック) 「以上のより、「は上のより、「以上のより、「以上のより、「以上のより、「以上のより、「以上のより、「は上のより、「以上のより、「以上のより、「は上のより、「以上のより、「以上のより、「は上のより、「以上のより、「は上のよ